

満月とプール

樺澤愛

ある寒い季節
出口の見えないトンネルを
ワタシは1人彷徨っていた

暗闇の中を
がむしゃらに走っていたら
蟻地獄にハマって
そろそろ死にたくなっていた

突然光がやってきて
ワタシの手を掴んでくれた
その手は温かく
ワタシの心まで溶けていった

その夜プールに入って

夜空を見上げたら
満月よ
話したいことがあるんだ

ちょっといいかな
あのね 今日とても
嬉しいことがあって
涙が止まらないんだ

FULL MOON
俺は一人じゃなかったんだ
オープンハートで繋がれる
仲間に囲まれていたんだ

FULL MOON
助けてって言ってよかったんだ
愛で溢れる世界は
すぐそばにあったんだ

あの時からずっと
いつも肩を組んでる気分なの
どこにいたって
誰といたって
横を見ればあなたがいる
涙が止まらないんだ

FULLMOON
俺は一人じゃなかったんだ
オープンハートで繋がれる
仲間に囲まれていたんだ

FULLMOON
大好きだよって何度も何度も
愛で溢れる世界は
すぐそばにあったんだ
愛で溢れる世界は
すぐそばにあったんだ